

セグメント分析取組事例①（東京都中野区）

分析の目的

- 住民や議会に対するアカウンタビリティの充実や決算の見える化（施設の状況把握や施設マネジメントとして活用）を目的として、施設別行政コスト計算書及び貸借対照表を作成。

事例概要

- 財務書類作成にあたり、計上する項目等を詳細にせず、担当者が代わっても継続的に作成できるよう、簡易な方法とした。
- 有形固定資産減価償却率を把握することが主目的であるため、当該指標に関する勘定科目以外計上しない。資産は、固定資産台帳と執行データを確認し、計上。
- 人件費、物件費は節区分で分かる範囲、減価償却費を計上。物件費は、歳出執行データを予算科目によって絞り込んだ上で、施設名の関連するデータを抽出。人件費は、行政評価で用いる「工数」に人件費標準額を乗じたもので算出。
 - ・収益（使用料及び手数料）は、歳入執行データから特定することが困難なため、施設所管課へ確認。

【物件費に係る配賦のイメージ】

	No.1	No.2	No.3	No.12	No.13	No.15	No.16	総計	要確認
人件費	1,037	1,037	1,037	1,037	1,037	1,037	1,037	16,587	
標準時間	1,037	1,037	1,037	1,037	1,037	1,037	1,037	16,587	
非常勤報酬	0	0	0	0	0	0	0	0	
短時間	0	0	0	0	0	0	0	0	
物件費	20,655	4,015	9,374	17,522	4,872	4,514	4,526	113,452	22,165
ガス料	64	26	0	79	205	19	83	1,583	1,503
その他委託料	52	52	52	52	52	52	52	832	
その他管理委託料	479	211	3,757	301	622	398	157	2,505	
機械警備委託料	103	103	103	103	103	103	103	1,644	1,644
機器使用料等	23	23	23	23	23	23	23	368	
施設管理役務費	35	35	47	35	35	35	84	658	
事業運営委託料	2,718	2,718	2,718	2,718	2,718	2,718	2,718	43,488	
消耗品費	65	275	67	155	65	65	65	1,438	1,046
水道料	151	0	0	94	153	156	97	1,777	1,777
清掃管理委託料	142	210	2,342	142	142	142	142	4,567	2,271
電気料	765	0	0	285	216	569	503	6,208	6,211
								1,237	1,222
								3,782	3,424
								36,031	
								229	
								13,988	356
								2,911	356
								11,057	
								35,076	
								35,076	
								179,083	22,521

- 件名から施設が特定できないものを「要確認」とし、一定の金額以下の場合、この経費を配賦する。
 - 所管へ確認し施設に紐づけ（直課）
- 【配賦基準】
- 全体経費の5%以下（8,954千円）は、対象施設(16箇所)へ均等配賦する。
 $179,083千円 \times 5\% = 8,954千円$

セグメント分析結果

- 施設ごとの老朽化の状況が明らかとなり、今後の修繕等の対応や活用について、検討するきっかけとなった。

今後の課題・展望等

- 取組では一部の施設のみでの分析を実施したが、今後、対象施設を拡充する予定（令和元年度は子ども関連施設を分析）。
- 執行データの件名から施設への紐付けが難しい場合や、執行データに資本的支出と費用計上するものが混在している場合など、所管部局への確認や固定資産台帳データとの突合が必要な場合がある。